

に、奇靜脈葉に關して簡單なる解説をなさんとす。

又當患者は僧帽瓣閉鎖不全、兼狹窄症なる診斷を下したるも、経過、徴候等に多少非典型的な點あり。故に其の病歴を簡單に述べ、最後に電氣心働圖を供覽す。

2. 臨床寸談 磯田仙三郎

(第一) 猩紅熱遲發疹の「ムラージ」供覽

1925年 Fanconi が猩紅熱第三週或は第四週頃に患者の臀部膝部外側等に丘疹性發疹をあらはす事を認めこれを Spätexanthem と名付け猩紅熱患者の約90%以上に現はれ猩紅熱診斷上重要症狀であると述べた。然し本邦人に於ては差程多いとは思はない30%位には認められるが供覽する「ムラージ」の患者は頗る著明である。

(第二) 幽門狹窄症の胃及びそのX寫眞の供覽

生後滿1ヶ月患兒、出産時850gで「バトローゲン」で養はれた。生後23日目から始めて吐き始め便秘あり體重減少し胃部の膨隆及び運動が明瞭に觀る事が出來た。「アトロピン」無効、「オクチヌム」は一時輕快をもたらしたが、再び増悪して死亡した。解剖の結果胃の幽門部は雀卵大に硬い此部の筋肉肥厚極めて強く十二指腸に通ずる道は一寸釘の太き位しかない。而して猶胃全體は擴張して一部の胃壁は甚しくうすくなつて居る。

(第三) 「ベンチデン」試験に就て

Hepalaktin, Heferein Ebios, Pankreatin Oryzanin Thyreoidin 等の藥物に就て「ベンチデン」反應を見ると強陽性に出る。これから考へて見て乳兒等で乳汁のみを飲んでゐる場合その吐物及び便に「ベンチデン」反應が陽性に現れても直ちに潜在出血と考へず一應は内服の如何に就て考慮する必要があると思ふ。

(第四) 肺炎から膿胸をおこし更に化膿性腦膜炎をおこした腦の標本供覽を行ふ。以上。

3. 「イオン」療法に就て 金子 魁一

4. 體育醫學に就て 長谷川鏡一郎

昭和11年度會計報告

收入之部	
會費及雜收入高	3,541,27 ^{圓 銭}
支出之部	
印刷費	1,908,36
雜費	1,632,91
計	3,541,27

東京女醫學會費受領者氏名

昭和12年1月24日より
昭和12年4月17日まで

金貳圓也 昭和12年度分

丸木 徳子殿	大石 和子殿
黒木 三代殿	葛生 ふじ殿
小木 曾すな殿	小松 滿利子殿
阿部 京子殿	作地 竹子殿
齋藤 恭子殿	磯部 アイ子殿
宮越 欽殿	出口 雪枝殿
白須 ツギ殿	溝口 すま子殿
川口 正子殿	池部 初子殿
市川 正代殿	大島 和枝殿
早野 智恵殿	蓮見 春代殿
龜島 芳江殿	竹中 敏子殿
森下 悠紀江殿	久本 靜子殿
藤井 千代子殿	大屋 清花殿
泊 美智殿	伯井 律殿
葛岡 八重子殿	星野 れい子殿
山川 高子殿	厚谷 幾代殿
藤井 由紀子殿	桑名 てる子殿
鶴田 宜子殿	松田 宮子殿
美浦 さわ子殿	高野 久喜子殿
岩館 サグ殿	大橋 きく殿
林 百枝殿	甘利 貞子殿
大西 シヅエ殿	米津 トク殿
鈴木 全子殿	香取 京子殿
鈴木 その殿	武部 純子殿
渡邊 文江殿	安藤 暉子殿

金貳圓也 昭和12年度分